

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

会派が解散、単独活動

議員が行政の仕事を負う考え

参加した清溪セミナーの 3 日目には「分権改革と首長・議会の変化」(講師: 富野揮一郎 龍谷大学政策学部教授) を聴きました。富野氏は元神奈川県逗子市長でもあり、当時の現職をリコールして誕生した市長でありその時点でも異色な人物で意外なほどの理論家でした。久しぶりにその話を聞いてみると、「2000 年地方分権改革」が大きな意味を持っていると述べられました。

さらに、行政と議会と議員の考えでユニークな見解をうかがいました。地方自治体(=町田市など)は現在 2 元代表制(市長と議会)だが、議員が行政委員になることを避ける意味はない、むしろ議員が行政の仕事を負うことでその責任を負うべきであるとするものでした。現在の 2 元代表制であることで、議員がなにもかも行政から離れることはないと言うことでした。いうなれば、所管委員会の委員長がその行政部門の担当者になることや、その一定部門を動かすと言う意味を持つものでした。つまり、議会が決定したことを議員が責任を持ってやると言うことと言えます。

また、議員は市長とは違って市民全体の代表でなく、特定市民の代表だと言うことであり、多様化した市民社会にあっては、様々の階層の市民があって、その個々の集団の代表として議員が誕生しているとの話でした。それが集合として構成される「議会」が全体として市民代表たるべきものだという事でした。その意味では、個々の議員が議論を尽くして物事を決定していくことに意義があると言うものでした。私も以前からそのような感覚を持っており、意を強くした次第です。

エコセメントの利用状況を探る

町田市はリサイクルセンターで処理した焼却灰を日出町に全量運んでいます。当地では、その焼却灰をセメントの原料にして、エコセメントとして製造しています。



(東京たま広域資源循環組合HP写真を使用)

20 年ほど前のことですが、日出町の谷戸沢廃棄物広域処分場に続いて、二ツ塚廃棄物広域処分場が満杯になることを懸念したことで、焼却灰を埋め立てないでセメント原料にして資源化を図る計画が実用化したものです。最大メーカーの太平洋セメントが事業化したものですが、実際にはどの程度その製品が一般に利用されているか、果たしてそのコンクリート 2 次製品などが歓迎されているかということまで考えてみました。

つまり、その「廃棄物の資源化」と言う考えは良くても、あまりに高コストではその実用性や普及に限りがあるからです。電力における太陽光発電の評価や普及と同じく、果たして、このエコセメントの行方に明白な展望があるのかを、第 4 回定例会の一般質問で問うことにしました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会議員

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



インターン生募集中



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修生レポート ⑥ 金田 有里恵

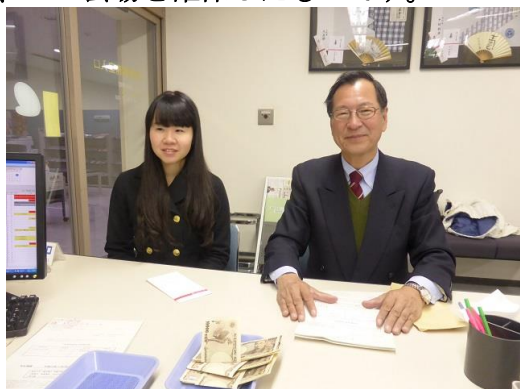
来年の 11 月 24 日に、吉田つとむ議員が開催するコンサートの準備をしました。はじめに、会場である相模女子大グリーンホールに、直接会場費を支払いに行ってきました。コンサートを行うには会場費だけでなく、音響や演奏者への謝礼、ピアノの調律など、多分野でお金がかかるということが分かりました。

次に、このコンサートの管理をしていらっしゃる日本青年館の担当者の方への、報告および質問を記したメールを作成、送信しました。大学に入学し、大人の方へのメールの作成をする機会は以前よりも増えてきましたが、未だに時間をかけて文章を考えてしまいます。丁寧で失礼でない、且つ簡潔で分かりやすい文章を速やかに作成する能力はこれからの生活でも必要だと思うので、早く腕を磨きたいです。

第 33 期研修生 金田有里恵

フェリス女学院大学 1 年生

このホールは相模原市のもので、来年 11 月町田市民ホールが改修で一時的に閉館することで、この会場を確保したものです。



研修生が続々誕生しています

この季節は、合計 4 名のインターン生が誕生しました。女子 2 名、男子 2 名です。男子は共に理科系で、私のインターン生では比較的珍しいことです。次回には、そのレポートも紹介できるでしょう。

浅野遼さん（東京薬科大学 3 年生）、古田知之さん（芝浦工業大学 3 年生）がこの日は一緒に同行しました。



学童保育クラブの行事に出席（保護者の了解確認をえた写真）



校長先生にも挨拶する二人の研修生

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp